

# 仙台湾岸に学ぶ激甚災害後の 砂浜植生の再生と保全



生態系の回復の余地を残した復旧・復興事業、生態系サービスを活かした海岸防災やグリーンインフラ整備のあり方とは？  
現地で収集された知見を整理・共有し、これから何をしていかなければならないのかを考える。



## 1. フォーラム (参加申込;不要、参加費;無料)

日 時:2015年11月14日(土) 13:00~17:00

会 場:東北学院大学「土樋」キャンパス 8号館 842教室

<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/access/>

※自家用車は入構できません。公共交通機関をご利用ください。

## 2. 現地検討会 (要申込、40名まで先着順で受付け)

日 時:2015年11月15日(日) 9:00~16:00

参加費:2500円



趣旨説明 鎌田磨人(徳島大学)

**(1) 砂浜植生の回復と保全** (13:05~14:00)

平吹喜彦(東北学院大学)

激甚災害後の海岸エコトーンの復旧・復興—生態系の回復と保全における課題

岡 浩平(広島工業大学)

砂浜植生の回復過程—自然再生を支える生態的過程

鈴木 玲(北の里浜 花のかけはしネットワーク)

地域を超えた協働による海浜植物の一時的避難と再導入  
—復旧・復興事業の進捗に伴うハビタット消失への対応

**(2) 海岸マツ林の回復過程と再生事業** (14:10~14:50)

富田瑞樹(東京情報大学)

津波被害後のマツ林—自律的回復の可能性

小野賢二(森林総研東北支所)

海岸マツ林再生のための施業—現状評価に基づく留意点

**(3) 仙台湾岸からの学びを活かす** (14:55~16:05)

島田直明(岩手県立大学)

仙台湾岸の事業からの学び—他地域の事業を活かすために

西廣 淳(東邦大学)

EcoDRR: 防災と保全の両立に向けて

清野聡子(九州大学)

総括—砂浜海岸の自然再生と防災

**(4) 質疑応答** (16:10~16:55) 進行: 鎌田磨人(徳島大学)

閉 会 平吹喜彦(東北学院大学)

**現地検討会** 11月15日(日)9:00~16:00

協 力: 国土交通省東北地方整備局仙台湾河川国道事務所仙台湾南部海岸復旧推進室

仙台湾南部海岸の「粘り強い防潮堤」、「緑の防潮堤」、砂浜の植物や植生の保護・保全対策(検討のしくみ、実務、成果、課題など)について、現場で意見交換

<スケジュール概略>

- 8:45 JR 仙台駅、集合
- 9:00 仙台湾岸視察(弁当と飲み物は各自で持参)
- 15:00 仙台空港(希望者下車、急ぎの方はアクセス鉄道でJR仙台駅等に帰れる)
- 16:00 JR仙台駅、解散

申込方法

❖ メールでのみ受け付け

■ 申込先: 島田 naoaki@iwate-pu.ac.jp

■ 締切り: 2015年11月1日(日)

(1) メールタイトルを「現地検討会参加」としてください

(2) 以下を記入して申し込んでください

氏名(ふりがな)、所属(名称、郵便番号、住所)、電話(できれば携帯番号)

(3) 先着順で受け付け、結果をメールでお知らせします。参加費は当日に徴収します

(4) 現地検討会の詳細についても、参加者に別途メールでご連絡いたします

